

畜産マネジメント (2単位)

担当者氏名 谷口信和・信岡誠治

◆学習・教育目標

畜産マネジメントとは、畜産物の生産・加工・流通を含めて、畜産経営の合理的なあり方を明らかにすることである。本年度は基本的なテキスト4種類の輪読を通じて、畜産マネジメントの全体像を把握することにしたい。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

畜産マネジメント	畜産経営	飼料構造	畜産物需給
大規模事業体	経営分析	日本型畜産	飼料用米

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	畜産経営と畜産物の流通（第1～2週）	畜産マネジメントの全体像を具体的な姿において概観する。	1. 世界の中の日本畜産 2. 生産の形態と流通
2	畜産の経営と市場（第3～4週）	畜産の経営構造、経営管理、記帳と分析；市場と価格形成、畜産物の消費	第1～2週の課題をやや理論的・構造的・簿記論的に検討する
3	養豚の経済分析（第5～10週）	養豚を事例として、需給構造、経営構造、大規模事業体などの実態を検討	畜産経営・経済の本格的な社会科学的分析の基本的な素養を涵養する
4	畜産飼料の歴史的位置（第11～15週）	穀物飼料のもつ意義を明らかにする中で、飼料用米の歴史的位置を解明	日本型畜産を構築する上での飼料用米の意義を食料問題の視点から検討

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

畜産学入門／唐澤ら／文永堂出版（2012）

新版畜産学第2版／森田ら／文永堂出版（1999）

養豚の経済分析／宮田剛志／農林統計出版（2010）

水田活用新時代／谷口ら／農山漁村文化協会（2010）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

特になし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

報告と質疑

◆その他受講上の注意事項

正確な報告と徹底した議論によってテキストをいかに読みこなすかという厳しく充実感のある課題に挑戦する